ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-41**

電話で 24時間 365日 お応えします

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-86**

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）**044-543-0220**
西日本地区（上記以外）**06-6440-4411**

携帯電話・PHSからのご利用は **03-3426-1048**
FAX **03-3425-2101（365日：8:00〜20:00受付）**

※**電話受付：365日・24時間受け付けます。**　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

東芝クリーナー保証書

持込修理

形名	**VC-Y26C**	製造番号	
★お客様	お名前	ふりがな	様
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	市外　市内　番号　呼	
保証期間	本体	**1年**	★お買い上げ日　年　月　日から
★ご販売店	住所・店名	電話	

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

東芝コンシューママーケティング株式会社 家電事業部　クリーンソリューション部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）
電話（03）3257-5864

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入のない場合は、有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は、再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

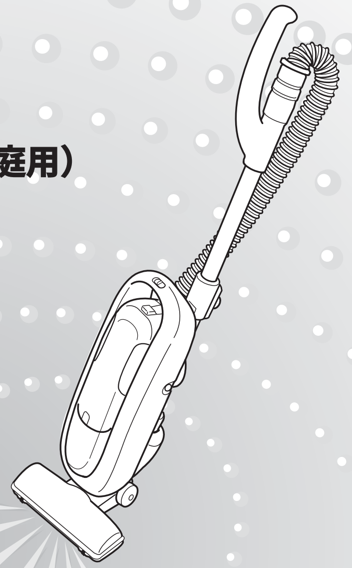
1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   （イ）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
   （ハ）火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
   （ヘ）保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
   （ト）一般家庭用以外（たとえば業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載）に使用された場合の故障および損傷。
2. 出張修理をご依頼の場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA

東芝エアロサイクロンクリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名
VC-Y26C



もくじ

安全上のご注意 ････2〜3
お願い ････････････････････････3
各部のなまえとはたらき ･･･････4〜5
お掃除のしかた ･･･････････････6〜7
ゴミの捨てかた ･･････････････････8
お掃除終了後は ･･････････････････9
お手入れ ･･････････････････10〜13
保護装置について ･･････････････13
このようなときは ･･････････････14
仕様 ･･････････････････････････15
保証とアフターサービス ････15〜16
保証書 ････････････････････････16

保証書付

保証書はこの取扱説明書の16ページについておりますので記入をお受けください。

- このたびは東芝エアロサイクロンクリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

●**商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。**

表示の説明

⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害＊2を負うことが想定されるか、または物的損害＊3の発生が想定されること」を示します。

＊1:重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止
改造はしない
また、修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁止
電源コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

100V・15A以上
電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。

プラグを抜く
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電・けがの原因になります。

根元まで差し込む
電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・発熱による火災の原因になります。

水場での使用禁止
水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電の原因になります。

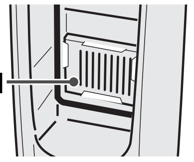
禁止
電源コードは黄マーク以上引き出さない
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止
灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因になります。

禁止
電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
電源コードの損傷により、感電の原因になります。

水洗い禁止
本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部はのぞく）は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

禁止
ダストカップを取り付けずに運転をしない
通風口に棒などを入れない
故障の原因になります。

通風口


ほこりをとる
電源プラグとコンセントのほこりなどは定期的にとる
感電・発熱による火災の原因になります。

⚠注意

プラグを持つ
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグの刃が変形したり、電源コードが断線して感電・ショート・過熱により発火の原因になります。

禁止
床ブラシをはずして使用しない
排気風がゴミを吹きとばすことがあります。

禁止
吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

プラグを持つ
電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがの原因になります。

プラグを抜く
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

まっすぐ引く
電源コードは、まっすぐ引き出す
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電・発火の原因になります。

禁止
排気口はふさがない
火災の原因になります。

火気禁止
火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

禁止
引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発・火災の原因になります。

禁止
伸縮延長管を伸ばしたまま保管しない
本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

お願い

このクリーナーは家庭用です
●業務用には使用しない。
●掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない
■**水などの液体や湿ったゴミ。**
■ガラスやお皿の破片、ピン、刃物など鋭利なもの。
■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目づまりするもの。
■食品用ラップなどの通気性の悪いもの。
●**吸込力の低下やモーター故障、ダストカップの傷つきの原因になります。**

ホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたりしない また、ホースを持って本体を吊り下げない
●本体が落下してけがをしたり、床を傷つけることがあります。
●ホースが変形することがあります。

ホースを引っ張った状態で保管しない
●ホースが伸びて、元にもどらなくなる場合があります。

床ブラシと本体の間に手を入れない
●手などをけがすることがあります。
●特に小さなお子さまにはご注意ください。

ハンドルを持って運ばない
●本体と伸縮延長管の取り付けが悪いと本体が落下して、けがをしたり、床を傷つけることがあります。

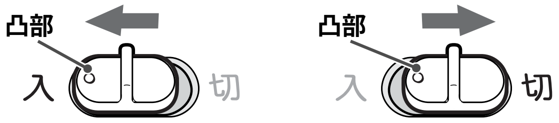
掃除するときは電源コードを十分に引き出す
●電源コードを無理に引っ張ると、損傷する原因になります。

床ブラシや伸縮延長管・ホースを床に強く押しつけたり、壁、家具などに強くあてない
●床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、**力を入れずに片手で軽くすべらせてください。**（たたみは目にそってお使いください。）
●砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。
●床ブラシに無理な力が加わると、故障の原因となります。
●床用ワックス、つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面に傷がつくことがあります。

各部のなまえとはたらき

本体スイッチ

スイッチを「入」へスライドさせるとモーターが回転し、「切」へスライドさせると止まります。

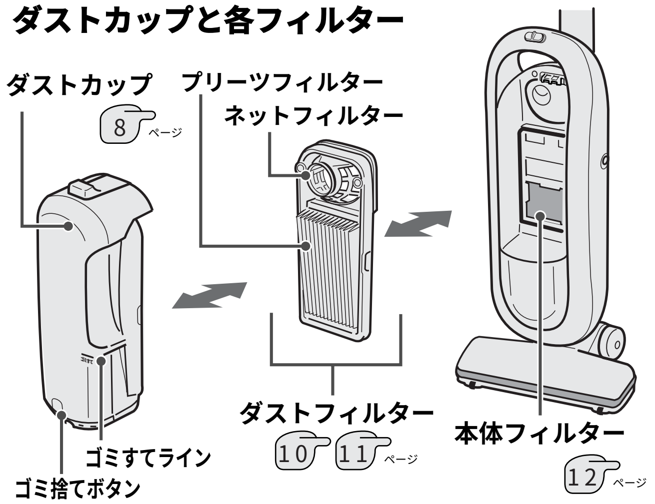


お願い

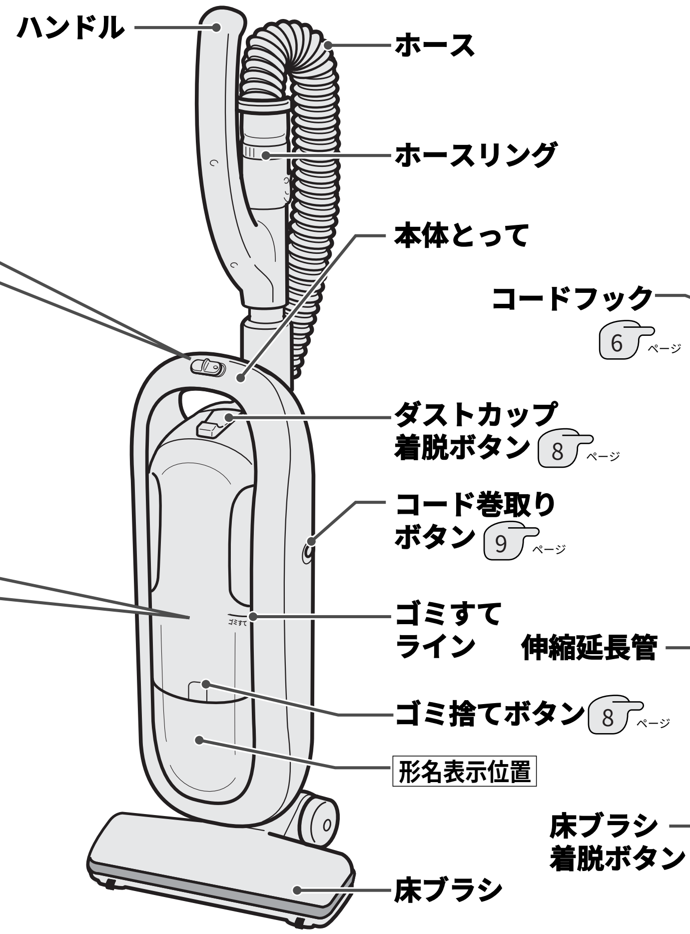
電源プラグをコンセントに差し込むときは、必ずスイッチを「切」の位置にしてください。

●スイッチを「入」にするときは、ハンドルまたは本体とってを必ず持ってください。モーターが回転する反動で本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

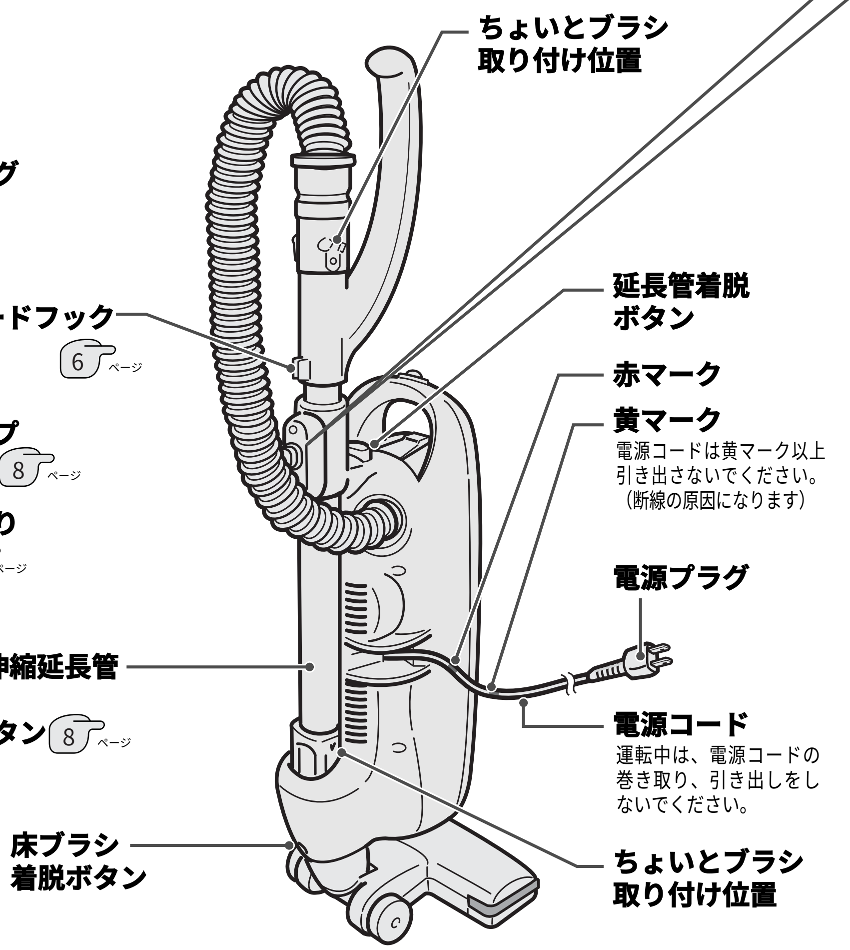
ダストカップと各フィルター



本体前

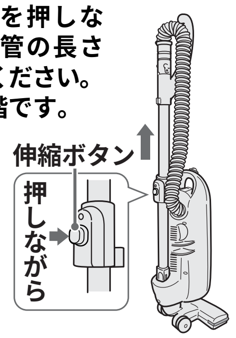


本体後



伸縮ボタン

伸縮ボタンを押しながら、延長管の長さを調節してください。長さは2段階です。



お願い

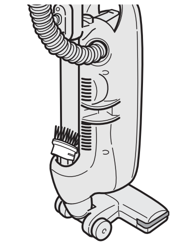
運転中に吸込口をふさいで伸縮ボタンを押さないでください。

●急に縮んでけがをすることがあります。

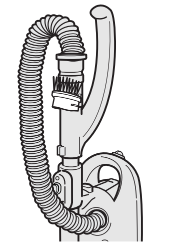
ちょいとブラシの収納のしかた

ちょいとブラシは伸縮延長管またはホースに取り付けたまま収納できます。 7ページ

伸縮延長管に収納した時

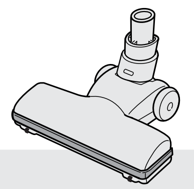


ホースに収納した時



標準付属品

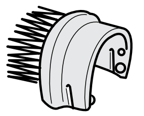
床ブラシ（1個）（前取りエアーヘッド）



伸縮延長管（1本）

応用付属品

ちょいとブラシ（1個）



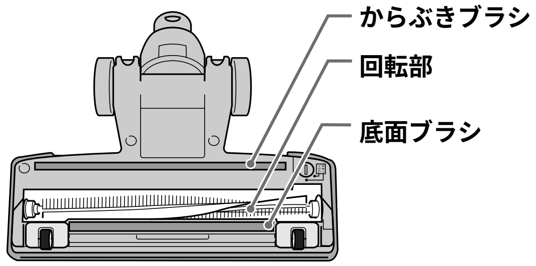
床ブラシ（前取りエアーヘッド）

回転部について

ダストカップがゴミでいっぱいになると回転部が回りにくくなります。このようなときは、ゴミを捨ててください。 8ページ

●ゴミの種類によっては、ゴミがいっぱいになっていなくても回転部が回らないことがあります。

●じゅうたんの種類（ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度が高いじゅうたんなど）によっては回転部が止まることがあります。



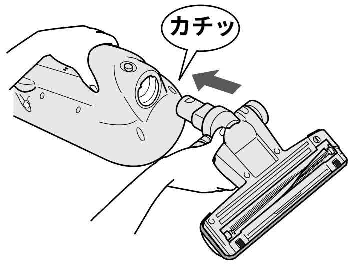
組み立てかた

床ブラシのセット

床ブラシを本体に取り付ける

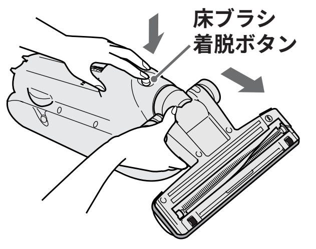
本体をねかせ、床ブラシを本体に取り付ける。

●床ブラシは「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。



床ブラシをはずすとき

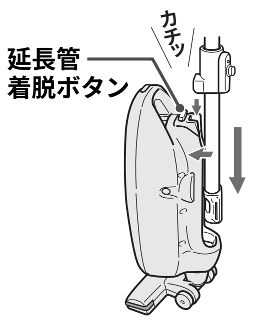
本体をねかせ、本体の床ブラシ着脱ボタンを押しながら、床ブラシを引き抜く。



伸縮延長管のセット

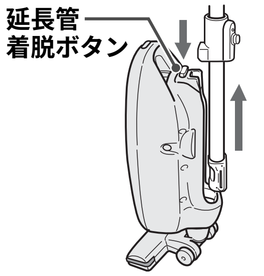
伸縮延長管を取り付ける

伸縮延長管を本体のくぼみにそって、延長管着脱ボタンが［カチッ］と音がするまで確実に取り付ける。



伸縮延長管をはずすとき

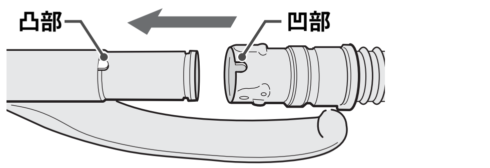
延長管着脱ボタンを押しながら、本体から伸縮延長管を引き抜く。



ホースのセット

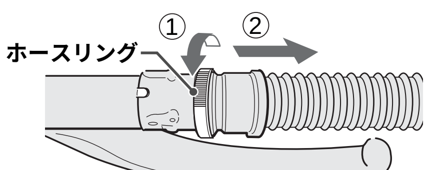
ホースを伸縮延長管に取り付ける

伸縮延長管の凸部にホースの凹部を合わせて差し込む。



ホースをはずすとき

ホースについているホースリングを矢印の方向にずらしながら、ホースを伸縮延長管から引き抜く。

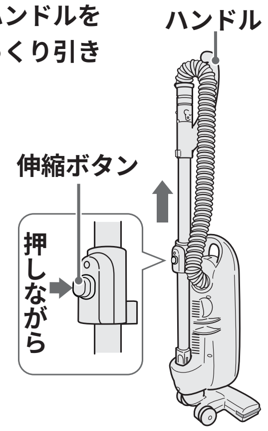


お掃除のしかた

床ブラシを使用したお掃除では、ホースを伸縮延長管に取り付けてご使用ください。

1 伸縮延長管を引きのばす

伸縮ボタンを押しながら、ハンドルを「カチッ」と音がするまでゆっくり引き上げる。



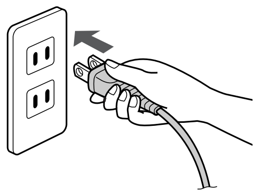
お願い

●伸縮延長管を勢いよく伸縮させないでください。故障の原因になります。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

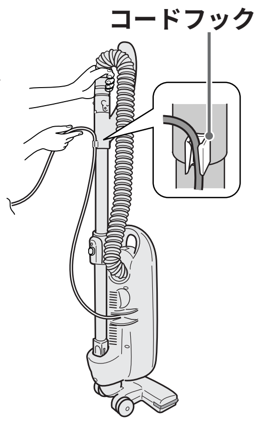
電源コードを引き出し、スイッチが「切」の位置になっていることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込む。

●電源プラグは根元まで確実に差し込みます。



3 電源コードをコードフックに引っ掛ける

電源コードをたるませ、コードフックにはめ込む。



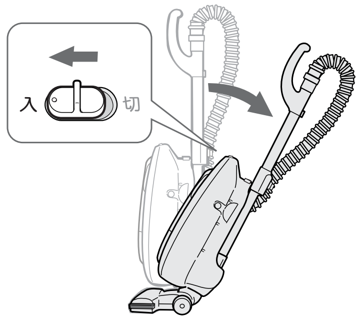
お願い

●伸縮延長管を伸ばした状態で電源コードをコードフックに引っ掛けてください。

●伸縮延長管を本体からはずすときは、先に電源コードをコードフックから取りはずしてください。

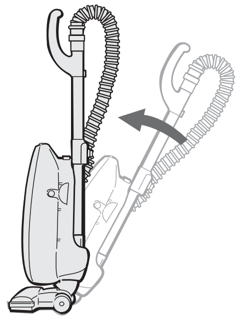
4 床ブラシを押さえながら本体を手前に倒し、スイッチを「入」にしてお掃除する

●本体を立てた状態では、本体と床ブラシがロックされます。ご使用の際は、床ブラシを押さえながらロックをはずしてください。



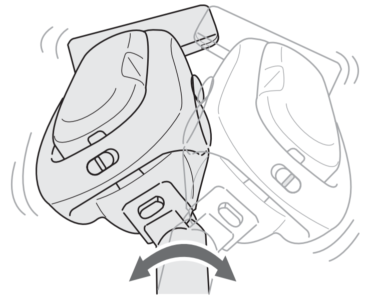
本体と床ブラシのロックのしかた

●本体に床ブラシを取り付けた状態で、床ブラシの中央に本体の中央がくるように本体を立てていくと、本体と床ブラシがロックされます。



ポイント

●ハンドルを左右にねじると、床ブラシの向きをそれぞれの方向に変えることができます。



お願い

●床面によっては倒れやすい場合がありますので、そのような床面で本体から離れるときは、必ず本体をねかせてください。

●床面を傷つけることがありますので、お掃除される際は、本体と床ブラシのロックをはずしてください。

●**綿ぼこりが多い場合、ネットフィルターに綿ぼこりが付着して吸込力が低下することがあります。**そのときは、ゴミの捨てかたにしたがって、ほこりをネットフィルターから取りのぞいてください。8ページ

上手なお掃除のしかた

●**大きなゴミはあらかじめ取りのぞいてからお使いください。**
- 床ブラシやホース・伸縮延長管などのゴミづまり防止になります。

●**床ブラシやホース・伸縮延長管は軽くすべらせるようにお使いください。**

●**床やたたみなどをお掃除するときは、目にそってお使いください。**
- 楽に動かせ、傷つき防止になります。

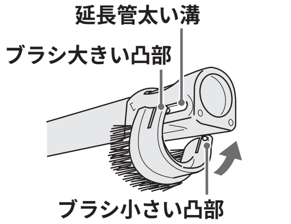
●**新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。**

ちょいとブラシを使ったお掃除のしかた

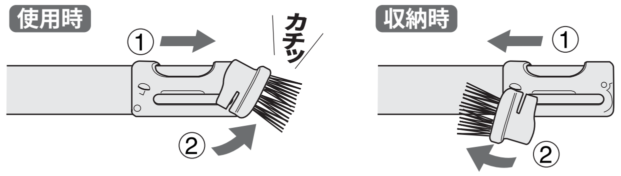
伸縮延長管側

取り付けかた

ちょいとブラシの大きい凸部を伸縮延長管の太い溝に合わせ、小さい凸部が反対側にある細い溝に入るようにはめ込む。

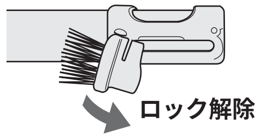


ちょいとブラシをスライドさせ、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで持ち上げ、ロックする。



取りはずしかた

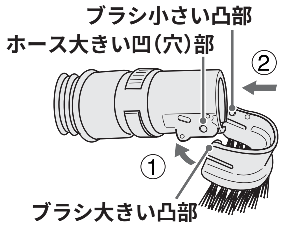
ちょいとブラシのロックを解除し、小さい凸部から先にはずしてください。



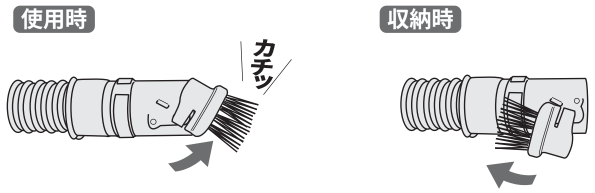
ホース側

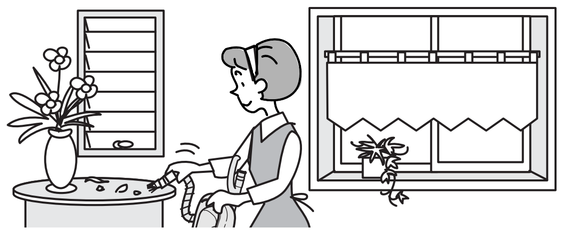
取り付けかた

ちょいとブラシの大きい凸部をホースの大きい穴に入れ、小さい凸部がホースの小さい穴に入るようにはめ込む。



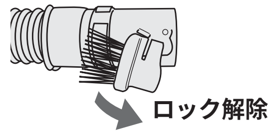
ちょいとブラシを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで持ち上げ、ロックする。





取りはずしかた

ちょいとブラシのロックを解除し、小さい凸部から先にはずしてください。



※ちょいとブラシは伸縮延長管またはホースに取り付けたまま収納できます。5ページ

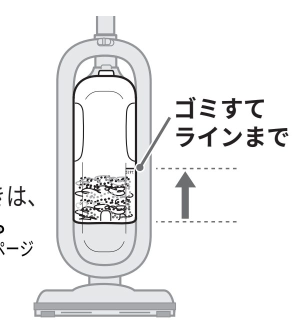
お願い

●本体とってを持ってお掃除してください。本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

●伸縮延長管・ホースで直接お掃除すると床や家具などを傷つけることがありますので「ちょいとブラシ」を取り付けてお掃除してください。

●「ちょいとブラシ」をロックするとき、手をはさむ恐れがありますので気をつけてください。

ゴミの捨てかた

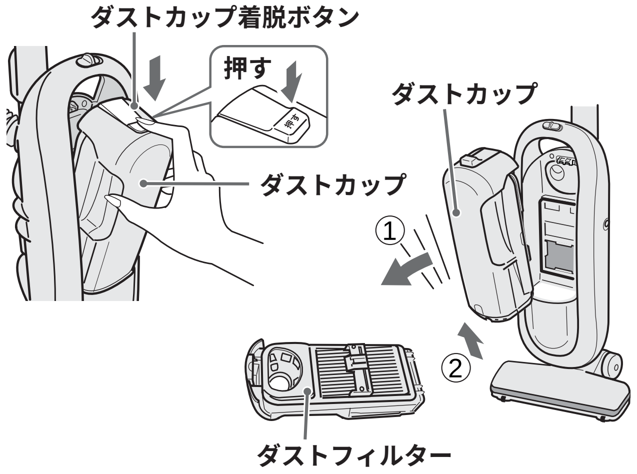


- **お掃除が終わったらこまめに「ちり落し」を行い、ゴミを捨てましょう。**
- **「ゴミすてライン」を超える前にゴミを捨ててください。「ゴミすてライン」を超えると吸込力が低下します。**
- ゴミの種類によっては、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、「ちり落し」を行い、ダストカップ内のゴミを捨て、ダストフィルターのお手入れをしてください。8 10 11 ページ

※ゴミを捨てる前にはスイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。

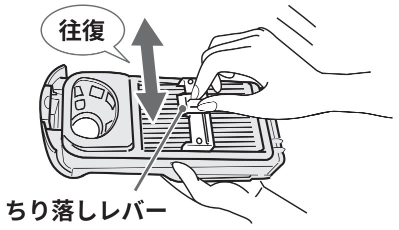
1 ダストカップ着脱ボタンを押しながら、ダストカップを取り出す

- ダストカップからゴミがこぼれる場合がありますのでダストフィルター面を上にしてください。



2 フィルターのちり落しをする

- ちり落しレバーを左右に10回程度往復させてください。
- ダストフィルター面を上にして、ちり落しを行ってください。ゴミが落ちる場合があります。

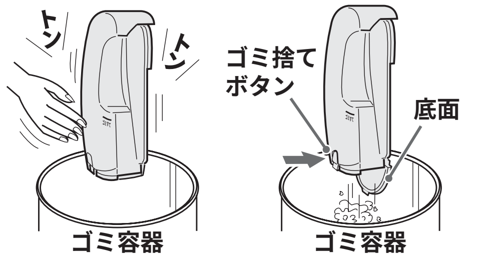


ポイント **ゴミ捨てごとに行ってください。**

- ネットフィルターについたゴミをティッシュペーパーなどで取りのぞくと吸込力が回復します。

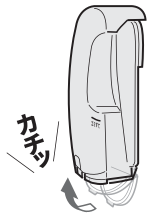
3 ダストカップを大きめのゴミ袋やゴミ容器の中に入れ、ゴミ捨てボタンを押す

- ゴミを捨てる前にダストカップ側面をたたくと、ゴミが落ちやすくなります。
- ゴミ捨てボタンを押すとダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。



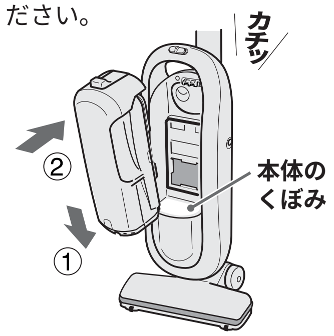
4 ダストカップの底面を「カチッ」と音がするまで閉める

- ダストカップの底面が開いた状態でゴミ捨てボタンを押しても底面は戻りません。



5 本体にダストカップをセットする

- ダストカップ下側を本体のくぼみに合わせ、手で本体を支えながら、ダストカップ上部を「カチッ」と音がするまで押してください。



お願い

- ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミ捨てボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
- ゴミを捨てても吸込力が弱い場合はお手入れをおこなってください。10 ページ

お掃除終了後は

⚠注意

禁止

伸縮延長管を伸ばしたまま保管しない

本体が倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。

保管のしかた

1 お掃除終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

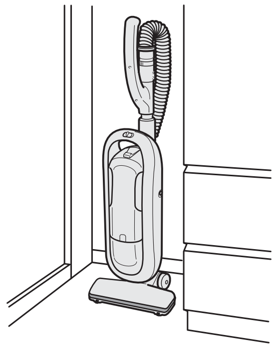
2 電源プラグを持ち、コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取ります。

- 巻き取れない場合は、電源コードを1～2m引き出してふたたび巻き取ってください。

3 ダストカップが床ブラシの中央にくるように本体を立てていくと、本体と床ブラシがロックされます。

- 正しくロックされていないと転倒の恐れがあります。

4 伸縮延長管を縮めた状態にしてお部屋の隅などに保管してください。 5 ページ



お願い

- 伸縮延長管を勢いよく伸縮させないでください。故障の原因になります。

つぎの場所では保管しない

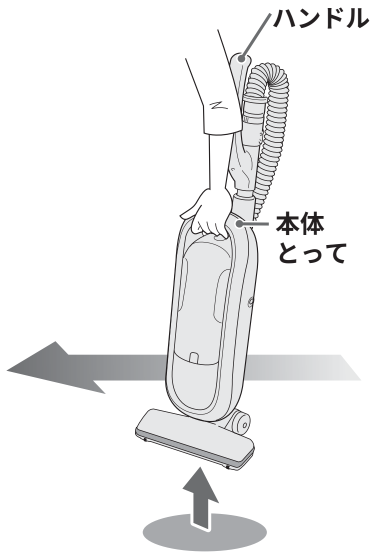
- **毛足の長いじゅうたん**
- **凹凸のある床面**
- **傾いた床面**
- **階段の上など本体が倒れる恐れのあるところ**

お願い

- 暖房器具の近くに保管されますと、本体が変形する恐れがありますので、そのような場所には保管しないでください。
- 直射日光のあたる場所に保管されますと、本体が変色する場合がありますので、そのような場所には保管しないでください。

移動するとき

- **移動の際は本体とってを持ってください。**
  ハンドル・ホースを持っての移動は、本体と伸縮延長管の取り付けが悪いと本体が落下してけがをしたり、床面を傷つけることがあります。



お手入れ

●ゴミを捨てても吸込力が弱いときは、こまめにお手入れをしてください。
●床ブラシの回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。
お掃除の最後に、週に１～２度お手入れしましょう。
※**お手入れ前にはスイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。**

⚠警告	水洗い禁止	**本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部はのぞく）は絶対に水洗いしない** 感電・故障の原因になります。

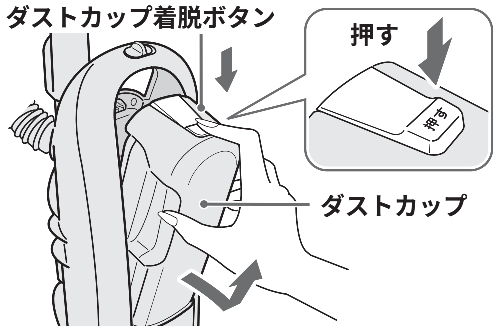
本体・付属品

●**本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませ、十分にしぼった布でふいてください。ベンジンなどでふくと、ひび割れ、変形、変色の原因になります。**

ダストカップ・ダストフィルター

1 ダストカップ着脱ボタンを押しながら、ダストカップを取り出す

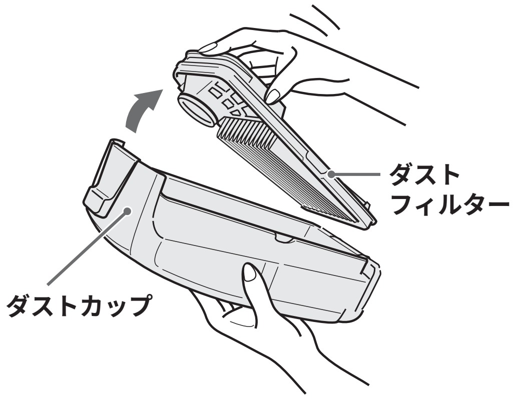
●ダストカップからゴミがこぼれる場合がありますのでダストフィルター面を上にしてください。



2 ネットフィルターについたゴミをティッシュペーパーなどで取りのぞく

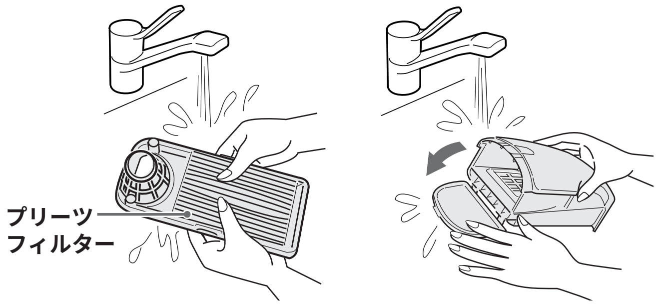
3 ダストカップからダストフィルターをはずす

●ダストフィルターの上部を持ち、上方から手前にゆっくりはずしてください。



4 ダストカップ・ダストフィルターを水で洗ったあと、水気をきり、十分に自然乾燥させる

①プリーツフィルターは、ひだを指で広げて奥につまったゴミまで十分に洗い流す。
②ダストカップはゴミ捨てボタンを押してダストカップの底面を開き中まできれいに洗う。



●プリーツフィルターは綿棒等でお掃除すると楽にゴミが落とせます。

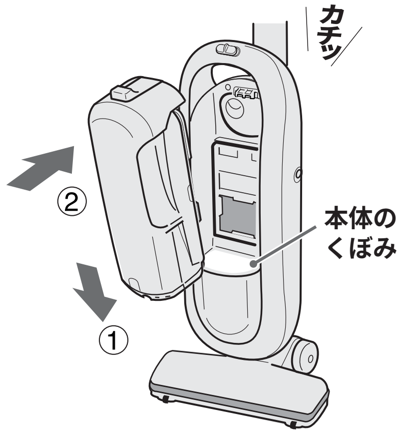
5 ダストフィルターをダストカップにセットする

①ダストカップにダストフィルターをはめる。
②ダストフィルターの周りを押さえ、しっかりダストカップに入れる。

●ダストカップの底面がしっかり閉まっていることを確認してください。
●ダストカップとダストフィルターがしっかりはまっていないと、本体にセットできない場合があります。
●吸込口パッキンがめくれたり、はずれたりしていないか確認してください。

6 本体にダストカップをセットする

●ダストカップ下側を本体のくぼみに合わせ、手で本体を支えながら、ダストカップ上部を「カチッ」と音がするまで押してください。



お願い

●わりばしなどの突起物でゴミを取らないでください。破損の原因になります。
●**お手入れ後は十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になりますと吸込力の低下やにおいの発生、故障の原因になります。**
●毛のかたいブラシで洗ったり、ネットを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
●性能・品質を保証できませんので洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

（つづく）

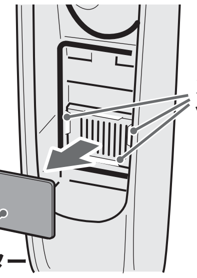
お手入れ（つづき）

本体フィルター

ダストカップ・ダストフィルターのお手入れをしても吸込力が弱いときは、本体フィルターをお手入れしてください。

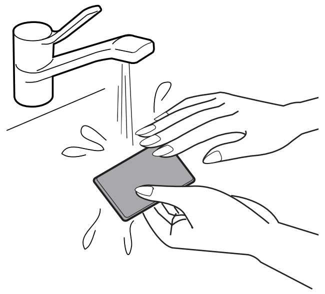
1 本体から本体フィルターをはずす

①ダストカップ着脱ボタンを押し、ダストカップを取り出す。
②本体フィルターの端を引き出し、ツメからはずす。



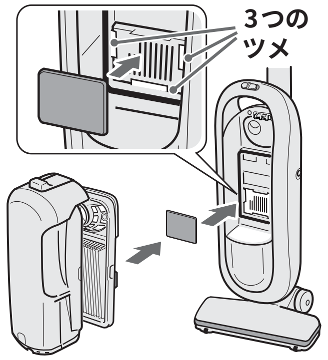
2 水で押し洗い後、陰干しで十分に乾燥させる

●乾燥が不十分でご使用になりますと、においの発生の原因になります。



3 本体フィルターを本体に取り付ける

①本体フィルターを3つのツメにはめる。
②ダストカップを取り付ける。



お願い

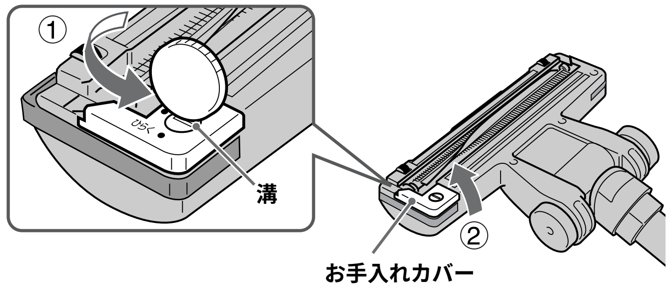
●本体フィルターを取り付けずに運転されますと故障の原因になりますので、必ず取り付けて運転してください。
●本体フィルターは強く引っ張らないでくだい。破損の原因になります。
●お手入れ後は十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になりますとにおいの発生や故障の原因になります。
●性能・品質を保証できませんので洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

床ブラシ（前取りエアーヘッド）

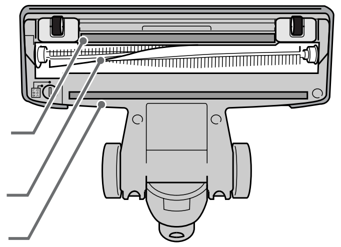
お手入れは本体をねかせてから、床ブラシを取りはずしておこなってください。

1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす

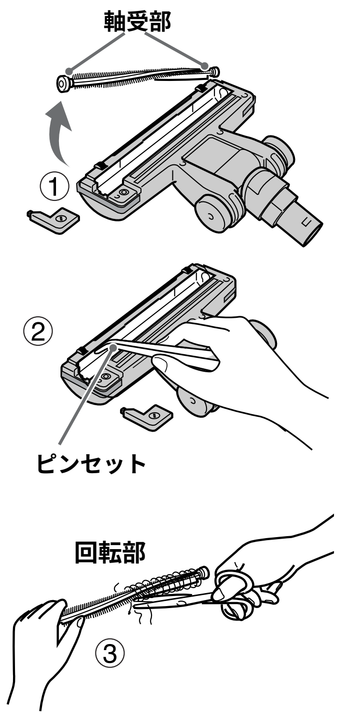
①溝にコインを入れ、「ひらく」の位置に合わせる。
②お手入れカバーを持ちあげる。



2 回転部をはずし、ゴミを取りのぞく



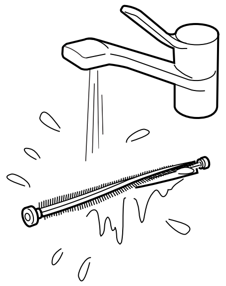
①回転部を持ちあげ矢印の方向に引き抜く。
②床ブラシ内についているゴミを取りのぞく。
③回転部に糸くずや毛がからみついたときは、はさみなどで取りのぞく。



お願い

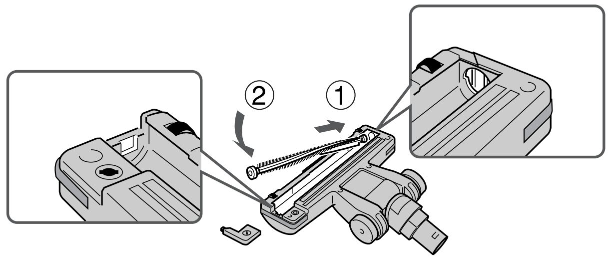
●底面ブラシ、からぶきブラシについたゴミを手で取りのぞいてください。

3 回転部を水で洗い、陰干しにして十分に乾燥させる



4 十分な乾燥を確認して、回転部を取り付ける

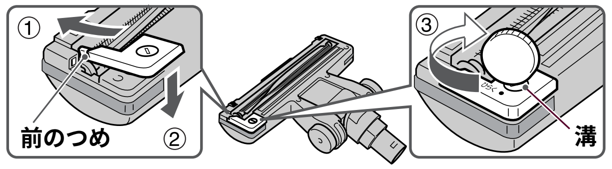
①軸受部の小さい方を矢印の方向に取り付ける。
②回転部を取り付ける。
（回転部には左右の方向性がありますので、逆向きには取り付きません。）



お願い 回転部の軸受部に注油しないでください。

5 お手入れカバーを取り付ける

①お手入れカバー側にある前のつめを合わる。
②矢印の方向にセットする。
③溝にコインを入れ、「しまる」の位置に合わせる。



保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。
次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

このようなとき

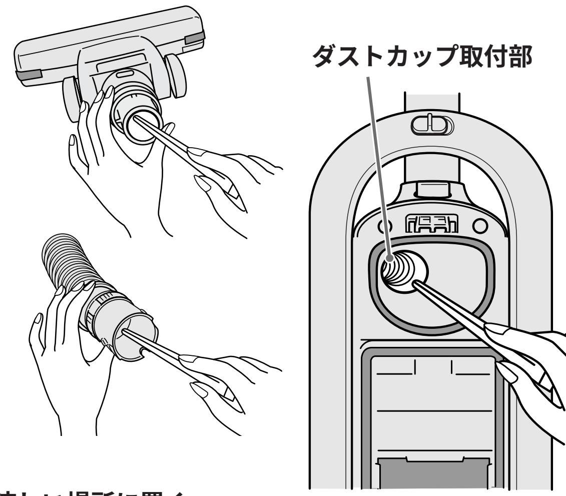
●**ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき**
砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
●**床ブラシやホース・伸縮延長管などにゴミがつまったまま運転し続けたとき**
●**夏期など室温が35℃を越えるとき**
●**吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき**

▼

直しかた

1.スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

2.ゴミを捨て床ブラシやホース、ダストカップ取付部につまったゴミを取りのぞく。
●本体をねかせ、床ブラシやホース、伸縮延長管につまったゴミをわりばしなどで取りのぞいてください。



3.涼しい場所に置く。

▼

約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。

このようなときは

⚠警告	分解禁止	**改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない** 火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

●ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べください。

このようなときは ▶	調べるところ	▶ 直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホースや床ブラシ、伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。	→しっかり差し込んでください。 →本体の保護装置がはたらいています。	4~6 13
吸込力が弱い	●ダストカップがゴミでいっぱいになってませんか。 ●ダストフィルターの汚れがひどくありませんか。 ●ホースや床ブラシ、伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。 ●本体フィルターの汚れがひどくありませんか。 ●床ブラシ使用中、ホースが伸縮延長管に取り付けられていますか。	→ゴミを捨ててください。 →お手入れしてください。 →ホースや床ブラシ・伸縮延長管をはずしてゴミを取りのぞいてください。 →お手入れしてください。 →しっかり取り付けてください。	8 10~11 13 12 5
床ブラシの回転部が回転しない	●ダストカップがゴミでいっぱいになってませんか。（土・砂ぼこりなどのゴミでは、ダストカップ内のゴミが半分以下でも回転しなくなることがあります。） ●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。 ●ホースが伸縮延長管に取り付けられていますか。	→ゴミを捨ててください。 →取りのぞいてください。 →しっかり取り付けてください。	8 12~13 5
電源コードが巻き取れない 引き出せない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。 ●電源コードがからんでいませんか。	→1～2m引き出してふたたび巻き取ってください。 →コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2～3回くり返してください。	4~5 4~5

それでも異常のある場合は、15～16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。

●ご使用中、本体および電源コード、排気風が熱く感じてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
●ゴミがたまってくるとモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません。
●ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。

仕様

電源	消費電力	外形寸法 長さ	外形寸法 幅	外形寸法 高さ	質量	吸込仕事率	運転音	集じん容量	電源コードの長さ	付属品
100V 50-60Hz 共用	500W	240 mm（使用時） 240 mm（折りたたみ時）	250 mm（使用時） 250 mm（折りたたみ時）	990 mm（使用時） 790 mm（折りたたみ時）	3.2kg （床ブラシ、伸縮延長管を含む）	150W	61dB	0.5L	5m	標準付属品 床ブラシ………1個 伸縮延長管………1本 応用付属品 ちょいとブラシ…1個

この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（一体）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●**保証期間はお買い上げの日から1年間です。**
詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

●クリーナーの補修用性能部品は製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
●クリーナーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　　持込修理

14ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）　－

愛情点検	●長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！		
	このような症状はありませんか。	●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。 ●電源コードを動かすと運転が止まるときがある。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常がある。	ご使用中止 ▶ 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。